

平成27年度 香ヶ丘リベルテ高等学校 学校評価

1. めざす学校像

建学の精神である「愛と真実の教育」「情操豊かな女子教育」を基本とし、新しい時代にはばたく力、生きる力を育む女子教育の理想をめざす

1. 明朗な女性の育成
2. 知性豊かな女性の育成
3. 実行力のある女性の育成

2. 中期的目標

1. 特色授業や行事を通して専門性を高める

(1) 本校独自の特色授業や行事を充実させる。

<表現教育科>

ア 表現教育科は、『リベラルコース』『アクティブアートコース』の2つコースがある専門学科で「ダンス」「楽器・ボーカル」「演技・声優」の表現教育科目を中心に「スピーチ」「ディベート」「プレゼンテーション」などの言語表現法を学習し、自己表現力、コミュニケーション力を育み、表現力豊かな女性の育成を目指す。

※自己評価アンケートで、表現教育科目の授業で専門性・自己表現力・コミュニケーション力を高める達成度を90%にする。

イ 発表する行事を設ける。発表の場所や鑑賞してもらう人などの設定を変え、さまざまな環境でより自己表現力と専門性を高める。特に修学旅行のグアムでは、「海外ライブ」としてステージの発表を披露し、海外で現地の方含めてたくさんの人の前で自己表現する。

※自己評価アンケートで、発表する行事を通して自己表現力・専門性を高める達成度を95%にする。

<普通科>

ア 普通科では、『美容芸術コース』『ファッションビジネスコース』『保育進学コース』『フィジカルコース』『アンダンテコース』の5つのコースがある。さまざまな分野の知識や専門性を高めたり、自分の進路をじっくりと考えて学んだり、それぞれコースの特色授業を通して夢に向かう生徒たちをサポートする。また、「実践的キャリア教育・職業教育支援事業」を踏襲しながら、各コース実習授業、資格取得や教育講演などを通してより専門性を高める。

※自己評価アンケートで、普通科の各専門的な授業で生徒の専門的な知識や技術を高める達成度を80%にする。

イ 各コースに応じた行事を設定する。その行事を通して、体験プログラムを実施し、より専門的な知識や技術を身につける。

※自己評価アンケートで、普通科の各コースに応じた行事で生徒の専門性を高める達成度を80%にする。

2. 個々に応じた学習環境の整備と自分の目指す進路の実現

(1) 授業だけでなく、「勉強塾」や「セミナー」、「自習室の開放」、「つまずき0プロジェクト」、「0限目授業」、「寺小屋」、「早朝テスト」など学習環境を整備し、生徒に学習する場を与える。そして学習習慣の定着をさせ、学力向上につなげ目指す進路の実現をする。

注)「寺小屋」は小規模で行っているため、「寺子屋」でなく「寺(小)屋」にしています。

<表現教育科>

ア 「勉強塾」では、国公立大学・難関私立大学の進学実績を上げるために放課後7・8・9限目に、目指す生徒対象に2年次までは本校教員により授業形式・個別指導形式で行い、3年次では外部の予備校講師による受験対策講座を実施する。

※「勉強塾」参加生徒の希望する進路の実現率を85%にする。

イ 家庭学習の習慣が身につけていなかったり、学校以外に学習する場がない生徒がいる中、「セミナー」、「自習室の開放」「早朝テスト」を活用し、勉強が苦手な生徒にも学習する場を与え、学習習慣を身につけさせる。

※平成27年度卒業の表現教育科2期生の進路決定率を95%にする。

<普通科>

ア 「つまずき0プロジェクト」では「数が苦」を「数楽」にする。苦手な数学を小学生の問題までさかのぼり、どこでつまづいているのかを確認し、本校のオリジナルテキストを使用し徹底的に苦手分野に取り組み克服する。

朝礼前には「0限目授業」、朝礼中は早朝テスト「朝漢(あさかん)」、定期考査前の放課後には「寺小屋」、土曜日の放課後には「イングリッシュカフェ」に取り組み、個々に応じた学習環境を整備する。

※自己評価アンケートで個々に応じた学習環境の整備により、学習する場を与える達成度を80%にする。

3. 身だしなみ・マナー指導による女子教育

(1) 生徒のマナー意識を高め、頭髪・服装指導を徹底し、身だしなみを整える。

<表現教育科・普通科>

ア 「リベルテマナー」(社会生活3つの基本)として「挨拶・返事・言葉遣い」を大切にし、リベルテ美人(身だしなみが整い、マナーが良いリベルテ生のこと)を目指す。

※自己評価アンケートのマナー意識の達成度を90%にする。

イ 身だしなみ指導として、頭髪・服装指導を徹底する。自分の母校となる学校の制服にプライドを持たせ、身だしなみを整えることにより、より本校の魅力を示す。

※自己評価アンケートの身だしなみ・服装・頭髪指導の達成度を90%にする。

自己評価アンケートの結果と分析

<教職員>

☆特色授業や行事を通して専門性を高める

<表現教育科>

- ・今年度は、表現教育科新設から4年目を迎え、一区切りにした過去3年間を振り返る1年であった。専門的な授業で生徒の専門性・自己表現力・コミュニケーション力を高めるという達成度は91.7%と昨年度(82%)より上がった。その中でも、前年度課題にしていた言語表現科目でのコミュニケーション力を高めることが、昨年度に比べポイントも上がり改善されてきた。

学校行事における自己表現力と専門性を高めるという達成度は100%(H26年度90.9%)になった。教員も指導経験が積まれてきていることもあるが、やはり、準備・リハーサルが計画的に実施されていることが大きい。また、普段の表現科目の授業が基礎となり行事につながっているため、生徒のモチベーションも高い状態で行事に取り組むことができる。今後も更に完成度の高いものを目指し、行事計画および運営をしていき生徒たちの自己表現力と専門性を高めていきたい。

<普通科>

- ・基礎学力の定着と身だしなみ・マナー指導の強化を柱に学校全体が積極的に動いている。キャリア教育を背景に展開してきた各コースの専門科目の知識及び技術習得の達成度は62.3%となり昨年度(54%)を上回った。しかし、今後も専門性を更に高める授業改善の必要性は教員が強く感じている。合せて基礎学力の向上と定着を目的とした授業の整備がまだまだ必要である。朝礼時に語彙力をつけさせるために常用漢字の学習を始めたが、授業に直結するレベルに到達させるためには引き続き、運用・展開に工夫と改善が必要である。ただ、学園祭に代表される数々の学習発表への意欲はやはり高くなっており、専門的な知識、技術の習得は、授業だけに留まらず様々な行事に対して積極的に取り組むきっかけとなっている。

☆個々に応じた学習環境の整備と自分の目指す進路の実現

- ・基本となる普段の授業を大切にさせることについては、92.5%と達成度が昨年度(71.4%)を大きく上回った。様々な取り組みとして「勉強塾」や「セミナー」、「自習室の開放」、「つまずき0プロジェクト」、「0限目授業」、「寺小屋」、「早朝テスト」など学習環境を整備していくことに伴って、そのベースとなる授業を大切にしていくという意識が強まっていったことが大きい。H28年度はICT教育の一環として、学習支援のクラウドサービスも導入していく。次年度もさらに達成度を高めていきたい。
- ・生徒の進路目標の設定をさせることについては、75.6%と昨年度(85.7%)より下げてしまった。現在生徒たちは、進路決定に至るまでに膨大な情報の中で自分の進む道を決めていかないとけない。この情報化社会の中で、生徒が自分を見失うことなく、教員が生徒本人の考えをより把握し、進路のサポートをしていくことが求められている。その部分を来年度は、生徒とのコミュニケーションをさらに密にとりながら安心して目標設定させることをしていきたい。そして、生徒が納得のいく進路決定をするために、外部模試や個別資料なども活用しながら、ひとり一人の生徒に寄り添いながら取り組んでいきたい。
- ・個々に応じた学習環境の整備により、生徒に学習する場を与えられたことについては、48.8%と昨年度(51.8%)を下回った。学習する場を与えることと合わせ、生徒のモチベーションを高める取り組みが必要と考えられる。引き続き、今後も個々の学習ニーズを考えながら、生徒の目指す進路の実現をサポートしていきたい。

☆身だしなみ・マナー指導による女子教育

- ・「リベルテマナー」(社会生活3つの基本)として「挨拶・返事・言葉遣い」をマナー指導の方針として取り組んでいる。その中で、マナー指導の工夫・改善については68.3%と昨年度(64.2%)を上回っている。月間目標の設定や挨拶運動などの実施を続けてきた。今後も改善しながら取り組みたい。しかし、生徒のマナー意識を高めることについては、65.8%と昨年度(73.3%)を下回った。今後、マナー指導をより一層工夫していくことが必要になってくる。しかし、ポイントは下がった反面、生徒のマナー意識については定着してきていて、校内での生徒からの挨拶も多く見受けられるようになってきている。いい意味では習慣化してきたとも言えるだろう。ただより良いものを求めていくことで、現状打破をしていきたい。今後、より達成度を上げていき、合わせてマナー意識の定着合いも上げていきたい。
- ・身だしなみ・頭髪・服装指導を徹底することに関しては、82.9%と昨年度(85.7%)を下回った。3%弱とはいえポイントが下がっているところを受け止めて、今後より、自分の母校となる学校の制服にプライドを持たせ、正しい着用をすることにより、より本校の制服の良さや魅力も示していきたい。指導の工夫・改善については80.5%と昨年度(75%)より達成度上がった。今後もさらにポイントが上がるように、より徹底した指導と合わせ、生徒自ら母校を大切にすることを育てていく。

<自己評価アンケートの結果と分析>

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1. 特色授業や行事を通して専門性を高める</p>	<p>(1)本校独自の特色授業や行事を充実させる。 <表現教育科> ア特色授業の取り組み</p> <p>イ発表する行事を設ける。</p> <p><普通科> ア夢に向かう生徒たちをサポートする。</p> <p>イ各コースに応じた行事を通してより専門的な知識や技術を身につける。</p>	<p><表現教育科> ア・「ダンス」「楽器・ボーカル」「演技・声優」の表現教育科目を中心に「スピーチ」「ディベート」「プレゼンテーション」などの言語表現法を学習し、自己表現力、コミュニケーション力を育み、表現力豊かな女性の育成を目指す。</p> <p>イ・発表の場所や鑑賞してもらう人などの設定を変え、さまざまな環境でより自己表現力と専門性を高める。特に修学旅行のグアムでは、「海外ライブ」としてステージの発表を披露し、海外で現地の方含めてたくさんの人の前で自己表現する。</p> <p><普通科> ア・「美容実習」「メイク実習」「ネイルアート」「ファッション造形」「ショップコーディネート」「チャイルドヘアメイク」「キッズイングリッシュ」「ピアノ」「朗読」「保育理論」など、さまざまな分野の特色授業によって、専門的な技術や知識を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アンダンテ実習」では、「職業・職種研究」から「進路プランニング」を立て、自分の進路を3年間かけてゆっくりと考える。 ・「実践的キャリア教育・職業教育支援事業」を踏襲しながら、各コース実習授業、資格取得や教育講演などを通してより専門性を高める。 <p>イ・各コースに応じた行事を設定する。「美容メイクショー」「ファッションショー」「ネイルアート展示」「アクセサリー販売」「保育実習」などの行事を通して、より専門的な知識や技術を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企業見学会」「大学見学会」「キャリア教育講演会」「アンダンテ発表会」などの行事を通して、自分のやりたいことを見つけ、専門性を高めていく。 	<p><表現教育科> ア自己評価アンケートで、表現教育科目の授業で生徒の専門性・自己表現力・コミュニケーション力を高める達成度を90%にする。</p> <p>イ自己評価アンケートで、発表する行事を通して自己表現力と専門性を高める達成度を95%にする。</p> <p><普通科> ア自己評価アンケートで、普通科の各専門的な授業で生徒の専門的な知識や技術を高める達成度を80%にする。</p> <p>イ自己評価アンケートで、普通科の各コースに応じた行事を通して生徒の専門性を高める達成度を80%にする。</p>	<p><表現教育科> ア「ダンス」「楽器・ボーカル」「演技・声優」の表現教育科目を中心に「スピーチ」「ディベート」「プレゼンテーション」などの言語表現法など専門的な授業で生徒の専門性・自己表現力・コミュニケーション力を高めるという達成度は91.7% (◎) と目標設定値を超えることができた。前年度課題にしていた言語表現科目でのコミュニケーション力を高めることが、昨年度に比べポイントも上がり改善されてきた。</p> <p>イ発表する行事を通して自己表現力と専門性を高めるという達成度は100% (◎) となった。やはり、準備・リハーサルが計画的に実施されていることと、普段の表現科目の授業が基礎となり行事につながっているため、生徒のモチベーションも高い状態で行事に取り組むことができている。今後も更に完成度の高いものを目指し、行事計画および運営をしていき生徒たちの自己表現力と専門性を高めていきたい。</p> <p><普通科> ア「美容実習」「メイク実習」「ネイルアート」「ファッション造形」「ピアノ」「朗読」の実習授業で専門的な技術を身につけるという達成度は60% (△) となった。また「ショップコーディネート」「チャイルドヘアメイク」「キッズイングリッシュ」「保育理論」などの専門的な授業で知識の習得に関する達成度は64.5% (△) と昨年度より大幅にポイントが上がった。アンダンテ実習での「職業・職種研究」は進路選択に良い影響を与え、卒業時の進路未決定生徒数が5%未満という結果を残した。</p> <p>イ各コースに応じた行事で各コースの生徒の専門性を高めるという達成度は83.3% (◎) と昨年度より達成度が上がった。これは学園祭発表や修学旅行でのコース別体験を実施するにあたり、企画・準備を司る体制を確立したことが大きいと考えられる。また、来年度に向けての反省や課題を明確にすることによって更に充実した学校行事の運営に努めていきたい。</p>

<p>2. 個々に応じた学習環境の整備と自分の目指す進路の実現</p>	<p>(1) 目指す進路の実現をする。 <表現教育科> ア「勉強塾」の取り組み イ「自習室の開放」、「朝学習」の取り組み</p> <p><普通科> ア「つまずき0プロジェクト」の取り組み</p>	<p><表現教育科> ア・「勉強塾」では、国公立大学・難関私立大学の進学実績を上げるために放課後7・8・9限目に、目指す生徒対象に2年次までは本校教員により授業形式・個別指導形式で行い、3年次では外部の予備校講師による受験対策講座を実施する。 イ・家庭学習の習慣がなかったり、学校以外に学習する場がない生徒がいる中、「セミナー」、「自習室の開放」「早朝テスト」を活用し、勉強が苦手な生徒にも学習する場を与え、学習習慣を身につけさせる。</p> <p><普通科> ア・「つまずき0プロジェクト」では「数が苦」を「数楽」にする。苦手な数学を小学生の問題までさかのぼり、どこでつまづいてしまっているのかを確認し、本校のオリジナルテキストを使用し徹底的に苦手分野に取り組み克服する。 ・朝礼前には「0限目授業」、朝礼中は早朝テスト「朝漢（あさかん）」、定期考査前の放課後には「寺小屋」、土曜日の放課後には「イングリッシュカフェ」に取り組み、個々に応じた学習環境を整備する。</p>	<p><表現教育科> ア「勉強塾」参加生徒の希望する進路の実現率を85%にする。 イ平成27年度卒業の表現教育科2期生の進路決定率が95%にする。</p> <p><普通科> ア自己評価アンケートで個々に応じた学習環境の整備により学習する場を与える達成度を80%にする。</p>	<p><表現教育科> ア「勉強塾」参加生徒の希望する進路の実現率が86%（○）となった。外部の専門コーディネーターがカウンセリングを行い受験生のサポートを実施。今後も生徒個人に合わせた進路実現に向けて受験に集中できる環境を作っていきたい。 イ平成27年度卒業の表現教育科2期生の進路決定率が94%（○）であった。自分の目指す大学や夢を追いかけ声優や役者などを目指す生徒がいる。その中で、進路決定に至らない生徒もいるが、今後さらに希望する進路の実現を果たすために、個別によるきめ細かな進路指導に取り組みしていきたい。</p> <p><普通科> ア個々に応じた学習環境の整備により学習する場を与える達成度が55%（△）と昨年度とほぼ同じ数値であった。 「つまずき0プロジェクト」の一環として「寺小屋」を定期的実施。繰り返し、数学に対する苦手意識の払拭に努めた。定期考査前の補充授業も実施。今後も生徒の学力に応じた内容・速度で「学び直し」を進めていきたい。 今年度も「0限目授業（通称：モーニング数学）」を実施。特に定期考査対策として全学年で実施した。教科の性質上、すぐに成績に結びつくことは難しいが、生徒は「分かる」という経験が自信となっているようだった。また、語彙力を高めることを目的とした早朝テスト（通称：朝漢 あさかん）も引き続き取り組んでいきたい。</p>
<p>3. 身だしなみ・マナー指導による女子教育</p>	<p>(1) 生徒のマナー意識を高め、身だしなみを整える。 ア「リベルマナー」（社会生活3つの基本）の取り組み</p> <p>イ身だしなみ指導の徹底</p>	<p>ア・「リベルマナー」（社会生活3つの基本）として「挨拶・返事・言葉遣い」を大切にし、リベルテ美人（身だしなみが整い、マナーが良いリベルテ生のこと）を目指す。</p> <p>イ・身だしなみ指導として、頭髪・服装指導を徹底する。自分の母校となる学校の制服にプライドを持たせ、身だしなみを整えることにより、より本校の魅力を示す。</p>	<p>ア自己評価アンケートで生徒のマナー意識を高める達成度を90%にする。</p> <p>イ自己評価アンケートで生徒の身だしなみ・頭髪・服装指導を徹底する達成度を90%にする。</p>	<p>ア生徒のマナー意識を高める達成度が65.8%（△）となった。今後、マナー指導をより一層工夫していくことが必要になってくる。しかし、ポイントは下がった反面、生徒のマナー意識については定着してきていて、校内での生徒からの挨拶も多く見受けられるようになってきている。いい意味では習慣化してきたとも言えるだろう。ただより良いものを求めていくことで、現状打破をしていきたい。今後、より達成度を上げていき、合わせてマナー意識の定着度合いも上げていきたい。</p> <p>イ生徒の身だしなみ指導を徹底する達成度が82.9%（△）と目標数値には届かなかった。今後、より自分の母校となる学校の制服にプライドを持たせ、正しい着用をすることにより、本校の制服の良さや魅力も示していきたい。また、徹底した指導と合わせ、生徒自ら母校を大切にできる心も育てていく。</p>